

第130回日本循環器学会九州地方会
ランチオンセミナー3

多様化する大動脈弁狭窄症（AS）治療の意義 ～広がり続けるTAVIの可能性～

TAV in SAV、透析、Low Riskの適応拡大に伴い、AS治療のオプションは多様化しています。TAVIにはこれまで以上にSAVRと同等以上の成績が求められる時代になっております。

そこで今回、TAVIのエキスパートの先生方から、Low Riskや外科手術困難の慢性透析患者における新たな適応患者像や適切なAS治療戦略に関してレクチャーいただきます。

座長 **岩淵 成志** 先生 / 琉球大学病院 心臓血管低侵襲治療センター 特命教授
循環器・腎臓・神経内科学 診療教授

Low Risk患者に対して求められるTAVIの「質」

演者 **白井 伸一** 先生 / 小倉記念病院 循環器内科 部長

高度石灰化症例に対するSAPIEN3の治療戦略
～透析患者への適応拡大で考慮すべきこと～

演者 **西岡 健司** 先生 / 広島市立広島市民病院 救命救急センター 主任部長

2021.6.26 (土) 12:30 ~ 13:20

ライブ配信